

カラークリエイター プラス 子育てカラークリエイター

第10回

育てる側の心をコントロールする色彩心理



色は上手に使うことができると
危険を訴えたり、人を優しくさせたり
注意をひいたり、食欲を出させる事も可能です。

目から入ってくる色の刺激により、人は感情を動かされたり
体の動きまでもコントロールされてしまうのです。

これから、そんな凄い色の力について学んでいきましょう。



子供が持つ色の感覚について

例えば「赤」といえば・・・ 火、熱い、燃える、情熱、辛い、怒り
などと言うワードを連想する人が多いのではないのでしょうか？

これらは生まれてからの経験で、炎を見て、近くで熱さを感じた人にしかわかりません。
そして、その火が燃えるような、心の中の熱い感情も、経験を積み重ねて
いつしか身に付く感覚なのです。

子供はこれらの経験にまだムラがあり、大人のように共通性がありません。
アニメなどで主役のキャラクターが情熱的な場合は赤い服、一匹狼キャラだと紫
というように自然に刷り込まれていく部分もありますが、
特に小さなお子様の場合は、色彩心理を使った感情のコントロールなどは
まだ適切ではありません。



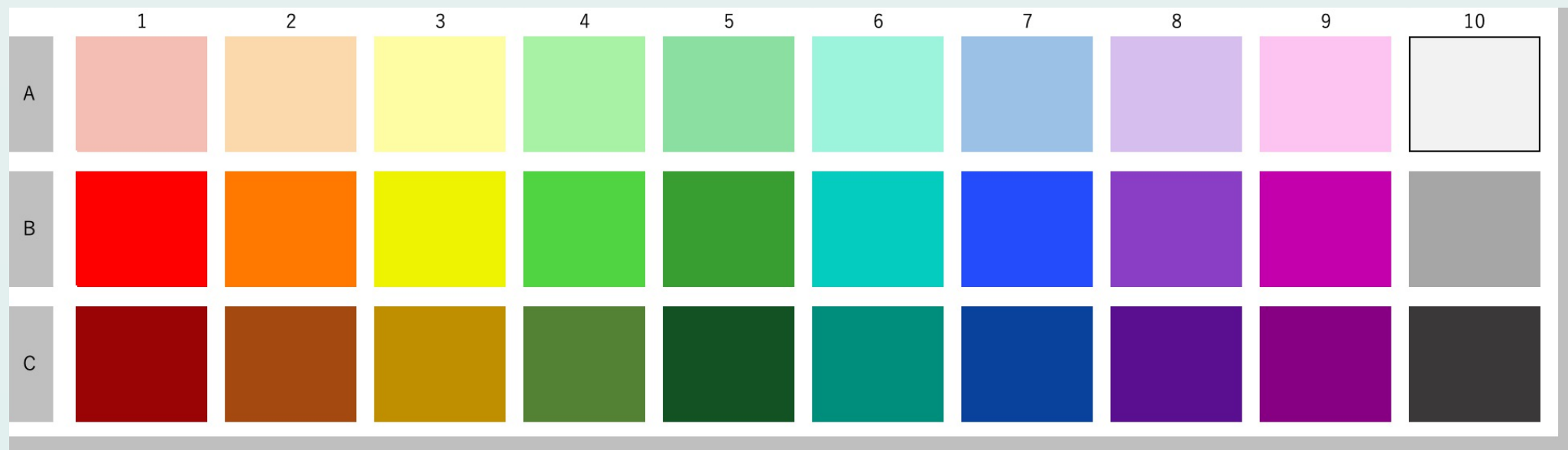
色彩心理とは

色を使って、心や体への影響、行動を分析する学問です。

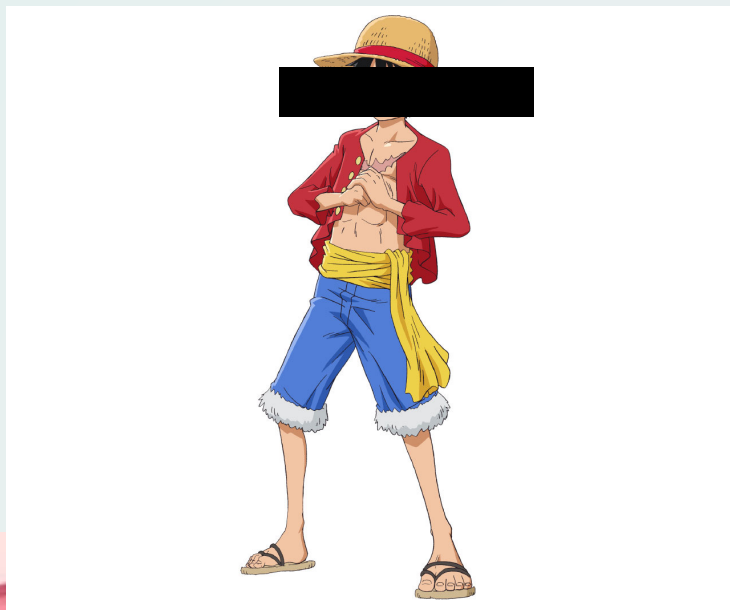
人の心と身体と「色」というのはとても関わりが深く
選ぶ色から個性や今の感情を知り、身体や心を整えていくことも可能です。



好きな色を四つ選んで、下の四角のどこに何色を配置したいか、決めてください







赤

赤を好む人は本能に忠実な性格の持ち主。
情熱はリーダーに適していて
心のままに突き進むため行動力も抜群。



ポジティブイメージ

- 情熱的
- 行動力がある
- 積極的

ネガティブイメージ

- 感情的
- セカセカしている
- 争い





青

青を好む人は理性が強く
知性に富んだ性格の持ち主。
常に周囲を見渡し、最善策を判断できる
冷静な人格。



ポジティブイメージ

- 理性的
- 知性的
- 冷静

ネガティブイメージ

- 冷淡
- 感情が伝わりにくい
- 行動力に欠ける



黄

黄を好む人は素直な感情の持ち主。
子供っぽい気質で、依存や求愛の感情も
素直に表す。
また、閃き、好奇心に富んでいる。

ポジティブイメージ

- 可愛らしい
- 才能豊か
- 好奇心旺盛

ネガティブイメージ

- 依存
- 子供っぽい
- 理性に欠ける





緑

緑を好む人は安心安全を重んじる性質。
強引なことをせず、流れに合わせながら
慎重に周囲の動きを見る



ポジティブイメージ

- 安心できる
- 安全地帯
- 協調性がある

ネガティブイメージ

- 警戒心が強い
- 能動的でない



紫

紫を好む人は知的探究心に富み、
上昇志向が高い。
群れることは望まず、高い位であろうと
努力する性質

ポジティブイメージ

- 文学的
- 流されない
- 冷静

ネガティブイメージ

- 孤立している
- 周囲に興味がない





白

白は相反するイメージも強く、一言では言い表すことができません。

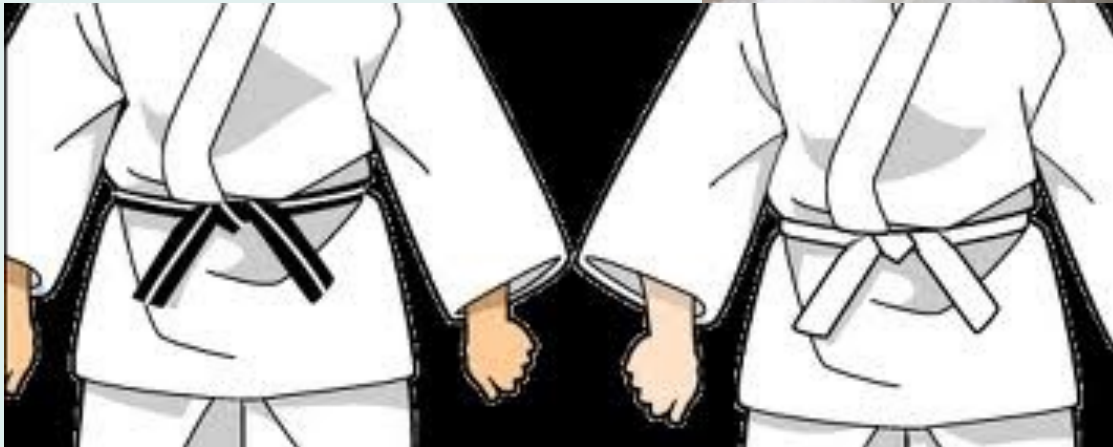
周囲の色との兼ね合いにより判断します。

ネガティブイメージ

- 潔癖
- 孤独

ポジティブイメージ

- 純真無垢
- エネルギッシュ
- 理想を高く持つ
- リッチ





黒

白同様、相反するイメージも強く、一言では言い表すことができません。

周囲の色との兼ね合いにより判断します。



ポジティブイメージ

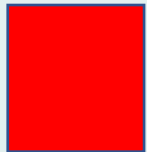
- 大人っぽい
- 努力家
- 我慢強い
- プロフェッショナル

ネガティブイメージ

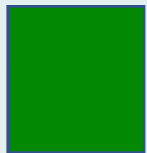
- 感情を出さない
- 頼らない



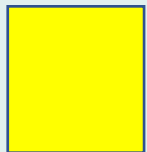
自分を構成する要素



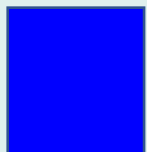
R: 栄養(エネルギー)



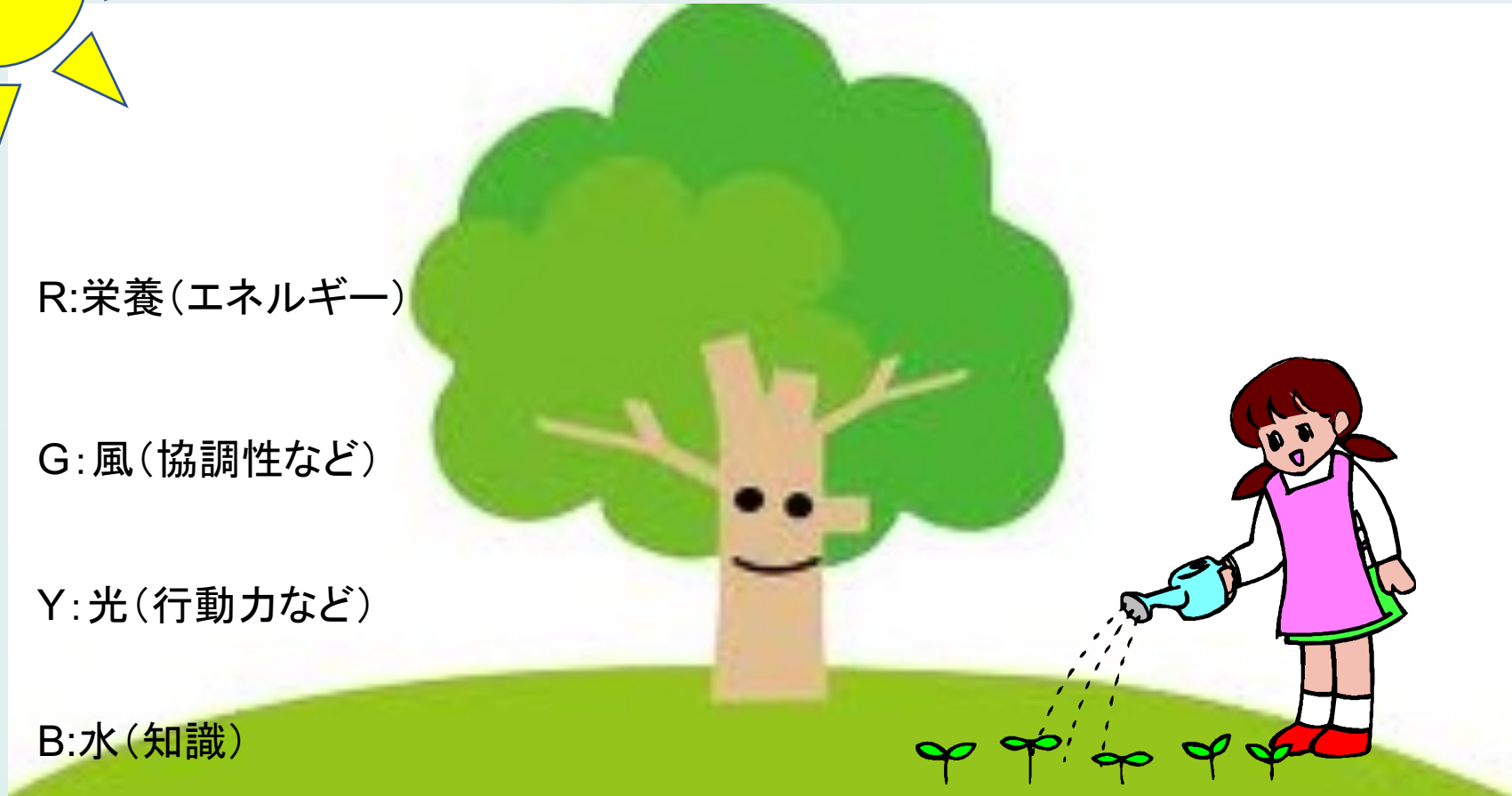
G: 風(協調性など)



Y: 光(行動力など)

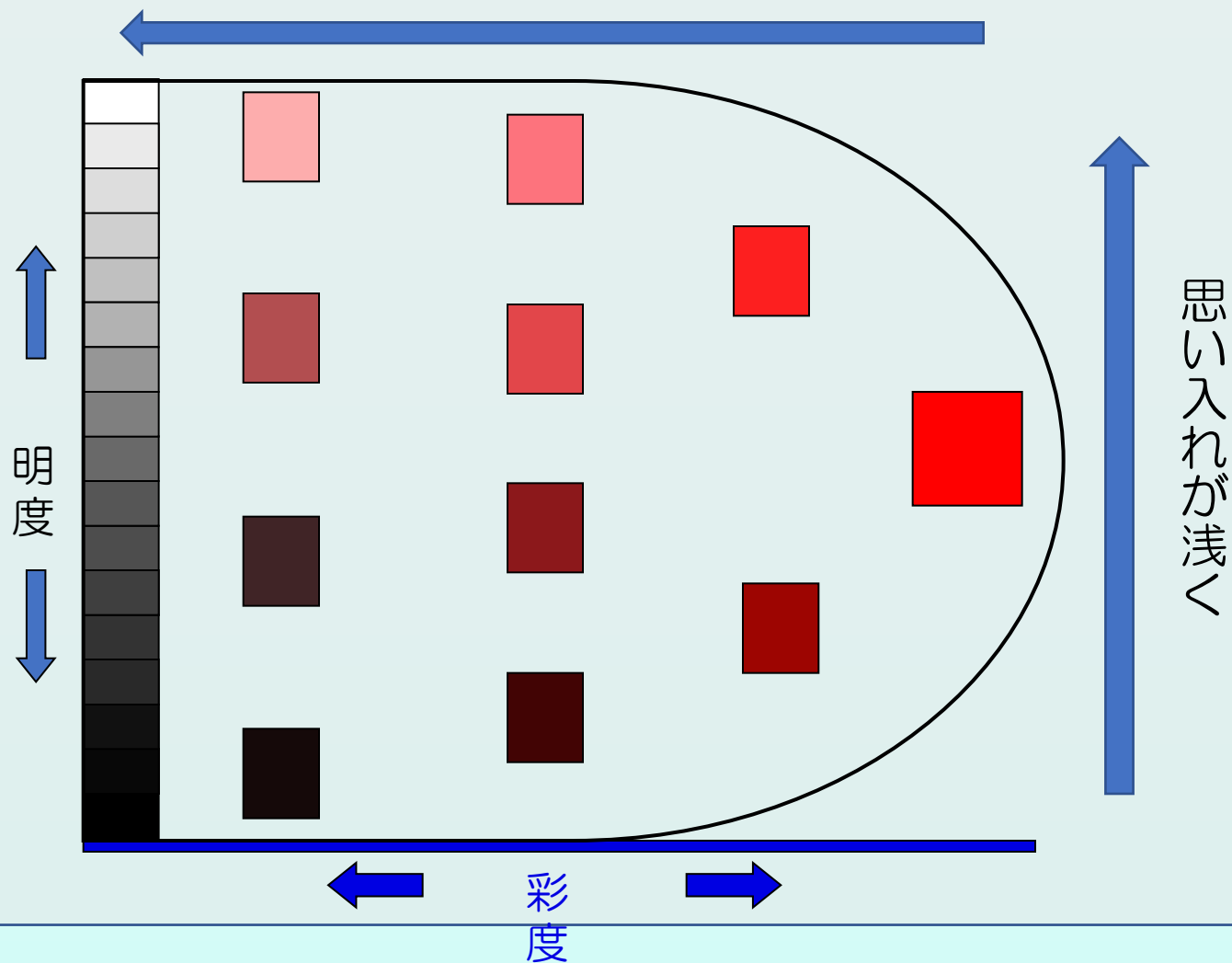


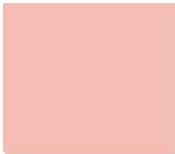





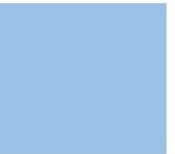

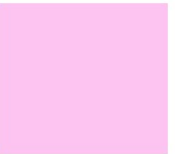






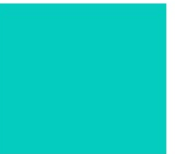














B: 水(知識)

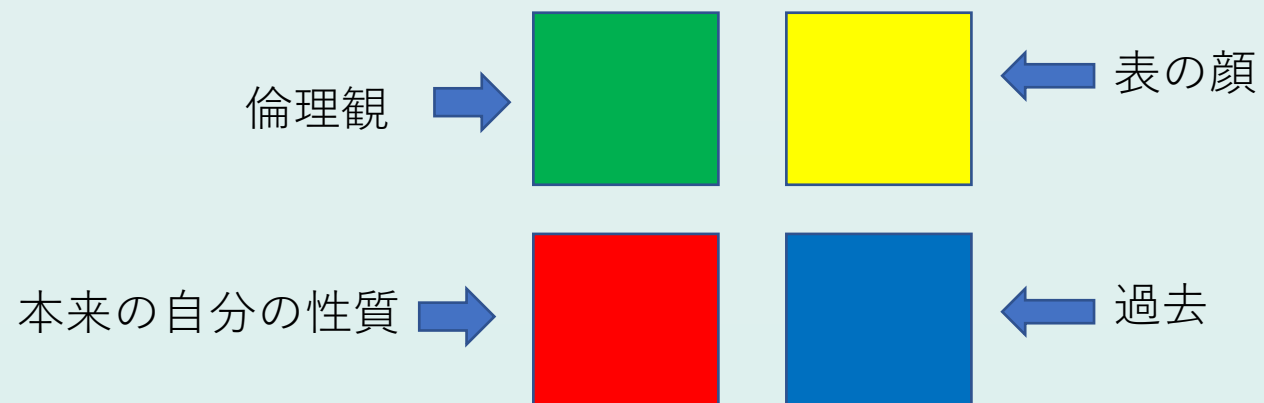


明度、彩度の特徴を見る

感情が閉鎖的に

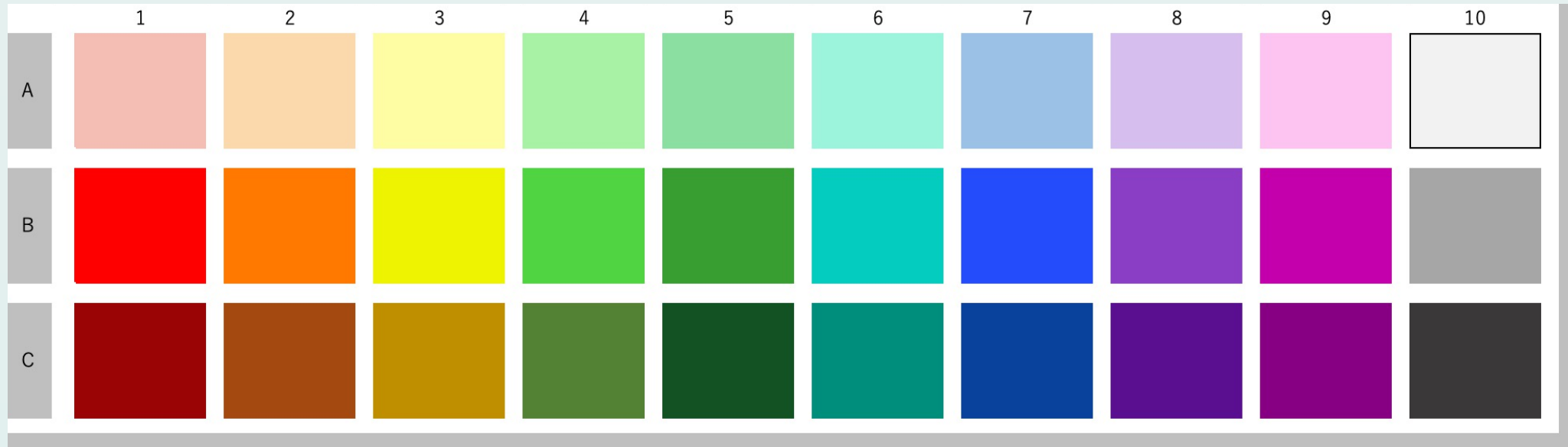


	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A										
B										
C										



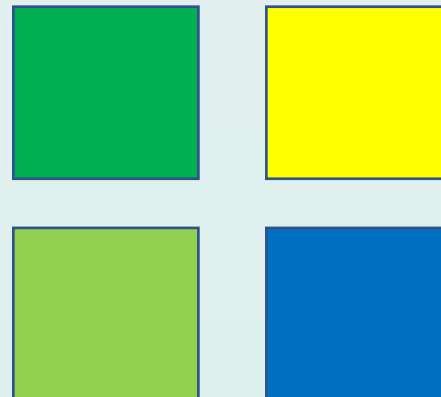
何色が足りないか
何色が多いか
カラーのバランスを見てみよう。

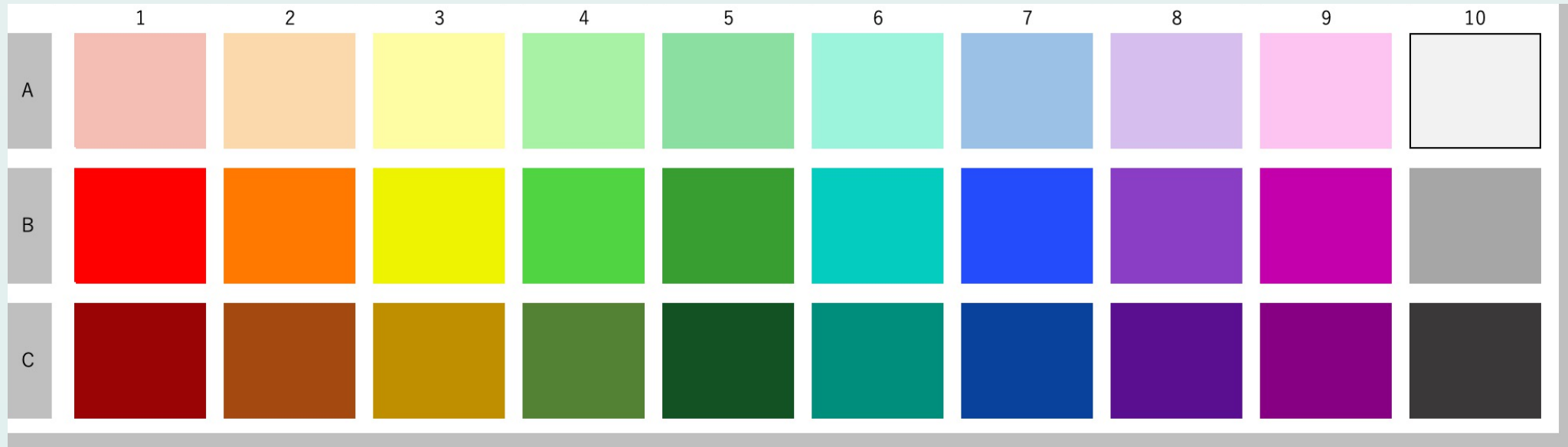




例) 赤が無い、緑が多い

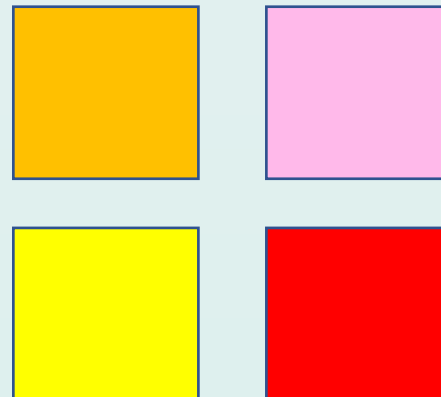
周囲に合わせる事を大事にして
自分の感情が出せない。

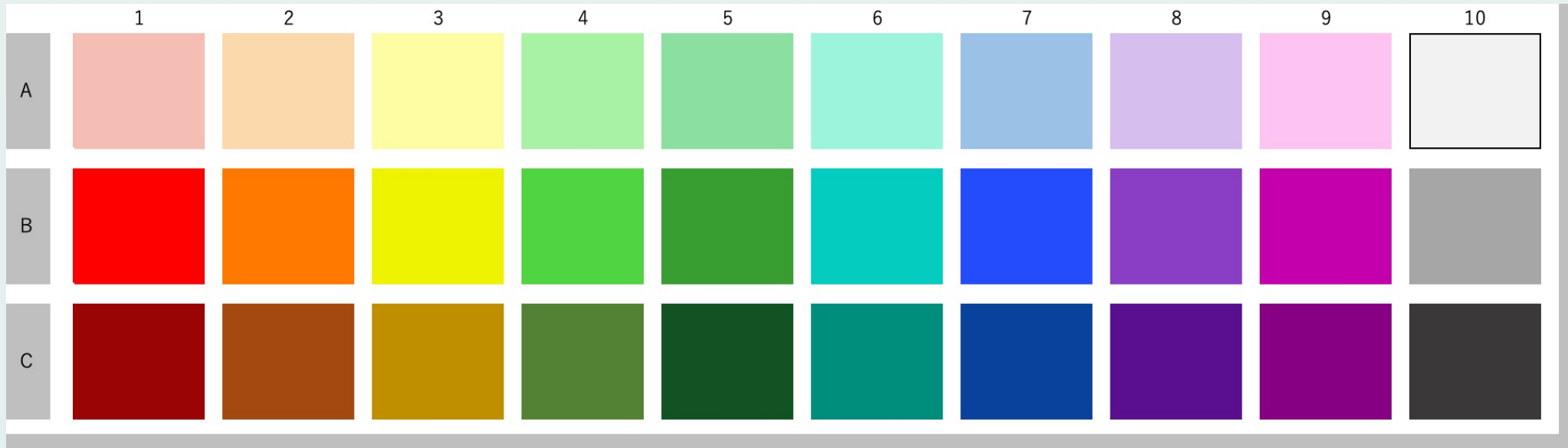




例) 暖色が多い

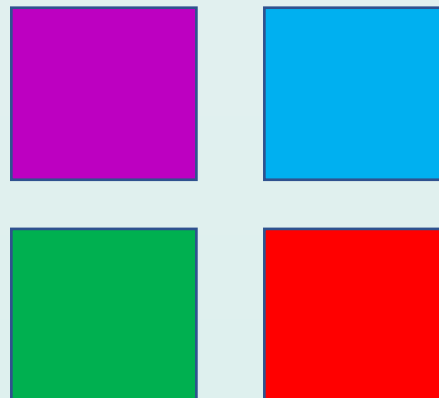
ノリや仲間を大切にするあまり
すべき冷静な判断ができない
ことがある。





例) 黄色やオレンジが無い

人に頼ったり、求めることが
苦手。



トーンが揃っているか
トーンのバランスを見てみよう



バランスを整える方法は？

- 必要な色の洋服や小物を身につけ常に目に入るようにする。
- 必要な色を思い浮かべ、深呼吸する
- その色のイメージの人と一緒に過ごす。



いかがでしたか？



長期にわたり
ご視聴ありがとうございました。

